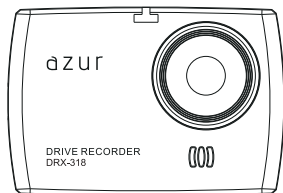
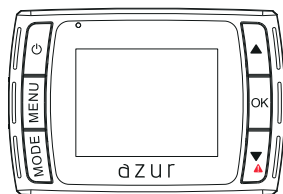


àZUR

ドライブレコーダー

DRX-318

取扱説明書



保証書別添付

この度は、ドライブレコーダーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受取りください。

目次

はじめに

■安全上のご注意(必ずお守りください)	1
■使用上のご注意(必ずお守りください)	4
■商品構成一覧表	5
■各部の名称と働き	6

準備

■取り付けについて	8
■microSDカードについて	11
■電源オン/オフについて	14

操作方法

■録画について	15
■動画記録モード	17
■動画記録中のスクリーンショットについて	20
■静止画撮影モード	21
■再生モード(記録ファイルの読み出し)	23
■パソコンによる記録ファイルの読み出し	25
■一般設定について	26

その他

■録画時間について	28
■トラブルシューティング	29
■仕様	30

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります
- 各画面写真ははめ込み合成で、色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項



警告

**必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する**

-  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。(ヒューズ: 2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

-  運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

-  ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用し取り付けたと、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

-  走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

-  車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き直す

-  ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き直し、まとめたり固定しておく等をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付け

- ❗ 車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12V マイナスアース車で使用する



DC12V マイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- ⊘ 煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると火災などの原因になります。
- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない



内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- ⊘ あやまって、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない



内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがからないようにご注意ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

- ❗ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 ⊖ を外しておく



バッテリーのマイナス端子 ⊖ を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

- ❗ 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する



取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車載用以外には使用しない



車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない



落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない



ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けけない



直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない



雨や洗車などで水がかかったり、湿気ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない



強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止



雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔を塞がない



本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。



注意

取付中はエンジンを切る



本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態に取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない



本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります



トンネル入出時のように、急に明るさや暗さに変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする



車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

信号機の色を認識できないことがあります



LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

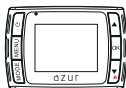
スーパーキャパシターについて

本機搭載のスーパーキャパシターは、急に電源が遮断されたときに現在録画している映像の破損を防ぎ安全に保護するためのバックアップ用電源です。以下の点にご注意ください。

1. 初めてご使用になるときや長期間使用されていないときは、スーパーキャパシターの特性上電気容量が少ない状態です。
外部電源接続後必ず「5分以上」充電をしてから本機の電源をお切りください。
5分未満の充電で電源をお切りになった場合、録画している映像が正しく保存されない場合がありますのでご注意ください。
2. 本機の電源を切ってから約7日間充電を行わない場合、スーパーキャパシターの電荷が放電され、日付が正しく表示されない場合があります。7日以内の充電をお勧めします。

商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認して下さい。



■ドライブレコーダー本体



■シガーアダプター



■取付ステー



■microSDカード8GB(本体に装着)



■取扱説明書



■保証書



使用上のご注意

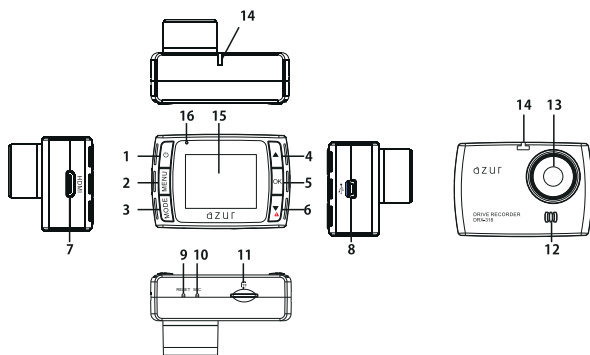
1、シガーアダプターについて

- 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- シガーアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12V)を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガーアダプターや本機故障の原因になることがあります。

2、取付ステーの使用について

- 付属の取付ステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバッグなどの安全装置の動きを妨げないようにお取り付けください。
- ステーを取り付ける前に、フロントガラスの表面をきれいにしてください。ほこり・異物は両面テープの粘着力に影響があり、落下・脱落する恐れがあります。

各部の名称と働き



1.電源ボタン/スクリーンショットボタン

電源オンの状態で2秒以上長く押すと電源オフになります。
録画中押すと、録画モードの解像度で静止画を撮ります。
電源オフの状態で押すと、電源オンになります。

2.MENUボタン(メニューボタン)

一回押すと、各モードの設定メニューを表示します。
その状態からさらにもう一度押すと、本機の一般設定メニューを表示します。
一般設定メニュー画面中に、再度「MENU」ボタンを押すと、もとのモードに戻ります。
※録画停止中に有効となり、録画中はMENUボタンが無効となります。

3.MODEボタン(モードボタン)

ボタンを押すたびに各モードに切り替わります。



動画記録モード



静止画撮影モード



再生モード

※録画停止中に有効となり、録画中はMODEボタンが無効となります。

4.カーソル(▲)/マイク オン/オフボタン

メニューのカーソル操作を行います。
録画中押すと、録画中の音声録音がオン/オフ切替ます。
(マイクの工場出荷設定値: オン)

5.OKボタン(確認ボタン)

設定メニュー: 項目や設定値を決定します。
動画モード: 録画中に押すと、録画を停止します。
録画停止中に押すと、録画を開始します。
撮影モード: 静止画を撮影します。
再生モード: 録画した動画の再生/一時停止を切り替えます。

各部の名称と働き(つづき)

6.カーソル(▼)/緊急録画ボタン

メニューのカーソル操作を行います。
録画中の場合に押すと、緊急録画を開始します。

7.HDMI出力ポート

miniHDMIケーブルを使用すると、外部出力できます。
※外部出力中は、本機の液晶画面がオフになります。
※外部出力中は、録画することはできません。
※miniHDMIケーブルは付属していません。

8.miniUSB端子

付属のシガーアダプターを接続します。

ご注意:

本機付属のシガーアダプター以外は絶対に接続しないでください。
正常に動作しなくなったり、故障する可能性があります。

9.リセットスイッチ

本機が正しく動作しなくなった時に押してください。

ご注意:

リセットすると、本機は強制的に電源が切れます。

10.マイク

周囲の音声を集音します。

11. microSDカード挿入口

microSDカードを入れて使用します。

12.スピーカー

操作音や再生時にファイルに録音された音声が出力されます。

13.レンズ

ご注意:

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

14.ジョイントレール

同梱品の取付ステーを取り付けます。

15.液晶モニター

1.5インチフルカラー液晶

16.電源ランプ

本機動作状況を表示します。

取り付けについて

取付ステーを使って、車に本機を取り付けます。

取り付け上のご注意:

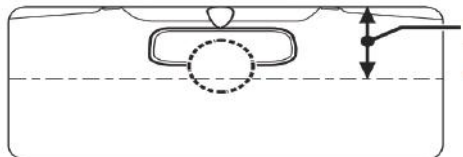
本機を取り付ける前に、以下の内容をご確認のうえ、取り付けてください。

- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しく取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の妨げとなる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- フロントガラスの上部20%の範囲以内に取り付けてください。
- 同梱品の取付ステーは両面テープで固定されます。一度取り付けると取り外しが難しくなります。ご注意ください。
- 同梱品のシガーアダプター以外のものを使用しないでください。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時など鮮明に記録できます。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、取り付けないでください。事故の際に、安全装置が動かず、けがの原因となります。

推奨取り付け位置(参考)

取り付け位置(正面)

(1) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適な映像を録画できます。

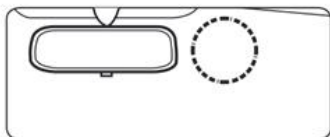
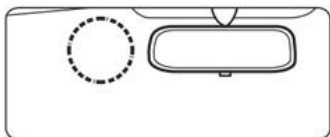


フロントガラスの上部から20%以内に取り付けてください。

※カメラレンズが、サンシェードや黒セラドットパターン、黒セララインにかからないように注意してください。

(2) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央部に設置できない場合は、ルームミラーの左、もしくは右側にも設置することができます。

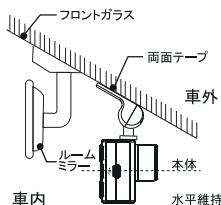
※中央部に設置できない場合、録画映像が片方に寄る可能性があります。



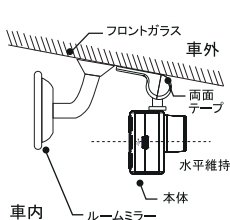
取り付けについて(つづき)

取り付け位置(側面図)

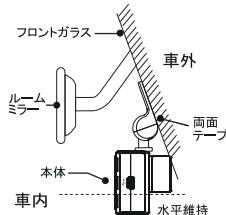
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車



■ ワンボックスやトラックなど



・ 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。

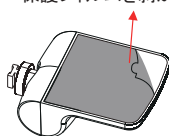
・ 本機が取り付けいた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

取り付け方法

1. ステータを取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油などをきれいに除去してください。

※ 汚れ・異物より、両面テープの粘着力が弱まり、落下・脱着する恐れがあります。

保護フィルムを剥がす

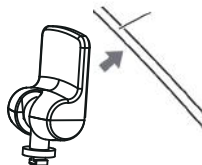


フロントガラス

2. ステータの両面テープから保護フィルムを剥がして、フロントガラスに取り付けてください。

※ 固定力を強くするために、本体を取付後24時間以上放置してから使用してください。

※ 貼り直しはテープの粘着力が弱まり、脱落する恐れがあります。



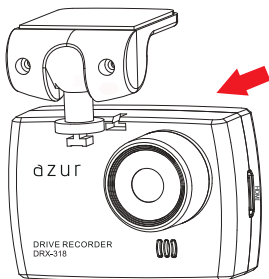
取り付けについて(つづき)

- 3.ステーを本体のジョイントレールに合わせ、本体を矢印の方向にスライドさせて、本体を装着します。

※取り付けステーのジョイント部の向きに注意して、奥まで確実に装着してください。確実に装着していないと、走行中に落下する恐れがあります。

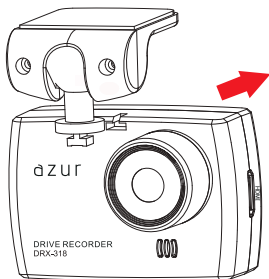
- 4.車の進行方向にレンズの角度を調整してください。

※取り付けステーのジョイント部に対して、無理な力を入れないでください、破損することがあります。



取り外し方法

ステーから本体を取り外す時には、本体を矢印の方向にスライドさせてください。



microSDカードについて

ご注意

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用してください。

- 付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSDカードの容量によっては、起動時間変動する場合があります。
- 本体の電源が入った状態で、microSDカードを抜き差しをしないでください。
microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットからシガーアダプターを抜き、本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。
必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してから、microSDカードを取り出してください。
※動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと、ファイルやカード自体が破損する恐れがあります。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコンにバックアップすることをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 本機は、8GB～32GB (Class6以上、Class10まで) のmicroSDカードに対応しています。
全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- UHS-I規格の製品は、Class10互換を謳っていても動作しない場合があります。
また、UHS-IIやU3規格の製品は対応していませんので、カードご購入の際は互換性にご注意ください。
- 正常に使用していても、長時間使用すると、正常に記憶できなくなる場合やカードエラーになる場合がありますので、定期的にフォーマットすることを推奨します。

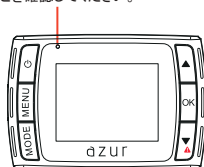
microSDカードの挿入と取り出し

1. microSDカードを挿入する前に、必ず本機の電源がオフになっていることを確認してから行ってください。

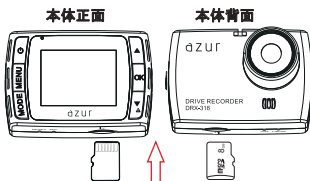
※本機動作中、microSDカードの挿入・取り外しをすると、データの破損、本機の故障の原因になる恐れがあります。

2. microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。

本機動作LEDランプが点灯していないことを確認してください。



microSDカードについて(つづき)



3. microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

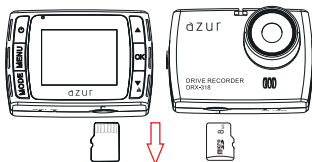
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

4. microSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き抜きます。

※microSDカードを取り出す前に、必ず本体の電源をオフにしてください。

※microSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※事故発生時に記録された映像データが壊れないように、必ず本体の電源をオフしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。



microSDカードのフォーマット

ご注意

本機を使用する前に、microSDカードを本機でフォーマットする必要があります。

- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコンにバックアップすることをおすすめします。
- フォーマットの操作は、必ず本機が車輻に固定され、車輻のエンジンが停止している状態で行ってください。
- フォーマット中は電源を切らないよう、ご注意ください。
※microSDカードは消耗品であるため、定期的にフォーマットすることをおすすめします。

microSDカードをフォーマットするには下記の手順が必要です。

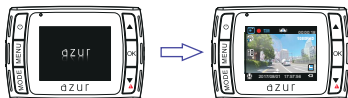
※microSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください。

microSDカードについて(つづき)

- 1.同梱されているmicroSDカードが挿入されていることを確認してください。
- 2.車のエンジンをオン(ACC ON)にして、本体を起動します。

※本機に電源が入ると、オープニング画面が表示されてから録画を開始します。

※録画中青い電源ランプは点滅しています。



3.一般設定メニューを表示します。

録画中の場合は、「OK」ボタンを押して録画を停止してから、「MENU」ボタンを押してください。

録画中は設定メニューに入ることができません。

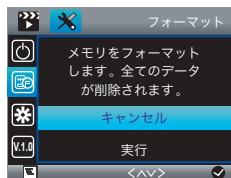
※「録画設定」画面に入ってから、再度、「MENU」ボタンを押すと一般設定メニューに入ることができます。



4.フォーマットを実行します。

一般設定メニュー画面に入り、「フォーマット」項目の「実行」を選択した後、「OK」ボタンを押すとフォーマットが開始されます。

※フォーマットが完了すると、一般設定メニューに戻ります。この時に「MENU」ボタンを押すと、元モードに戻ります。録画モードで「OK」ボタンを押すと、録画を開始します。



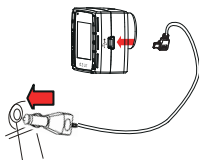
電源オン/オフについて

電源オン

①同梱品のシガーアダプターを車のシガーソケットと、本体のminiUSB端子にそれぞれ接続します。

②エンジンをかけると自動的に電源オンになり、オープニング画面が表示されます。

※同梱しているシガーアダプターをご使用ください。

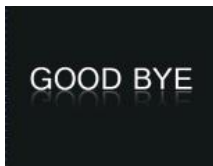


シガーソケット



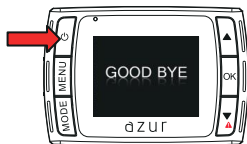
電源オフ

方法①
車のエンジンをオフにすると、本機は自動的に電源がオフになります。



方法②
本体の電源ボタンを約2秒以上長く押すと、電源がオフになります。

※電源をオフする前に、録画の中止と保存をしてください。(録画を中止したい時は、本体の「OK」ボタンを押してください。)



録画について

録画の種類

●常時録画

本機の設定により、1分間/2分間/3分間のループで録画します。
常時録画時は、1分間/2分間/3分間単位で連続して録画します。録画領域が上限に達すると、古いファイルから自動的に上書きをして録画を続けます。

1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続...
-------	-------	-------	-------	-------	---------

●緊急録画

1.緊急録画とは

録画中緊急録画ボタン[]を押す、あるいは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を感知すると、緊急モードで録画開始します。
緊急録画を開始すると、本機液晶右上に「」マークが表示されます。緊急録画ファイルはメニューで「上書きする/しない」と設定できます。「上書きする」を設定すると、緊急録画も古いファイルから上書きしていきます。
※デフォルト設定は「上書きする」になります。



2.緊急録画形式

緊急録画開始の時点により、ロックされる動画が異なります。

(例)

※ループ録画設定を「1分間」に設定時、動画①→②→③・・・と録画し続けます。
※動画②の時に事故が発生して、Gセンサーが衝撃を感知した場合、緊急録画が開始します。
※★は緊急録画の開始時点。

動画①		動画②		動画③	
1分	10s ★1	40s ★2	10s ★3	1分	録画継続...

事故発生

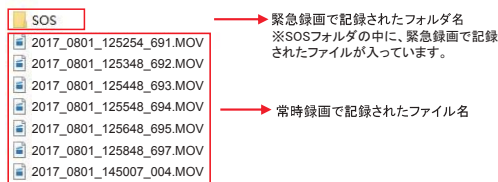
録画について(つづき)

★1: 動画②の最初から10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画①と動画②がロックされます。

★2: 動画②の最初・最後10秒以外に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②がロックされます。

★3: 動画②の最後10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

※記録されたデータ例



3.緊急録画終了時

緊急録画完了後、本機液晶右上の「」マークが消えて、常時録画に戻ります。

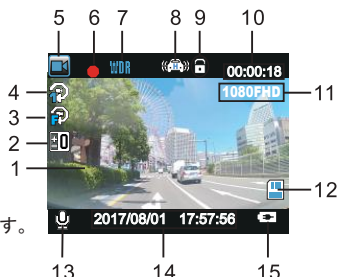
ご注意

- 緊急とは、衝撃を検知した場合という意味です。
- Gセンサーがソフト(高感度)に設定されている場合、衝撃が検出しやすくなります。
Gセンサーがハード(低感度)に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
- microSDカードの容量を超えた場合
常時録画ファイル=古いファイルから順番に上書きします。
緊急録画ファイル=設定により、上書きする/しないを決めることができます。
※大切なファイルは定期的にバックアップすることをお勧めします。
- 常時録画と緊急録画モードで記録されたファイルは保存先のフォルダ名が異なりますので、取扱にご注意ください。

動画記録モード

動画記録画面

1. 液晶モニター
映像画面を表示します。
2. 露出補正アイコン
3. 動体検知アイコン
Motion Detectをオンに設定した場合に表示します。
4. ループ録画モードアイコン
設定されているループ時間をアイコン表示します。
5. モードアイコン
動画記録モードの時に、このアイコンを表示します。
6. 録画中アイコン
録画中に点滅表示します。
録画中に「OK」ボタンを押して、録画停止状態にした場合、点滅表示が消えます。
録画停止中に「OK」ボタンを押すと、録画が開始され、点滅表示になります。
7. WDRアイコン
WDR機能をオンに設定した場合、表示します。
8. Gセンサーアイコン
オン時:  オフ時: 
9. 緊急録画中アイコン
緊急録画中に表示されます。
10. 動画記録時間
録画中の場合: 現在録画されている経過時間を表示します。
録画停止中の場合: 録画可能時間(残時間)を表示します。
11. 解像度アイコン
録画ファイルの解像度を表示します。
12. microSDカードアイコン
microSDカードの状態を表示します。



動画記録モード(つづき)

13.音声録音アイコン

Voice Recordの状態を表示します。

オン時:



オフ時:



14.日付・時刻

設定された日付と時刻を表示します。

15.電源アイコン

本体通電中に点滅します。

動画記録モードの設定

録画停止中、「MENU」ボタンを押すと、動画記録モードの設定メニュー画面が表示されます。



動画記録モード(つづき)

項目	設定内容	説明
解像度	1080FHD(▲)	録画ファイルの解像度を1920×1080に選択します。
	720P	録画ファイルの解像度を1280×720に選択します。
	WVGA	録画ファイルの解像度を800×480に選択します。
ループ録画	1分(▲)	常時録画で記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。
	2分	
	3分	
WDR	オフ	白飛びや黒つぶれを解消するワイドダイナミックレンジ機能のオン/オフを設定します。
	オン(▲)	
露出補正	+0.0(▲)	数値+2.0、+5/3、+4/3、+1.0、+2/3、+1/3、+0.0、-1/3、-2/3、-1.0、-4/3、-5/3、-2.0の露出補正を設定します。
Motion Detect ※1	オフ(▲)	動体検知機能のオン/オフを設定します。 ※動体検知機能は、動画記録モードのみ使用できます。また、電源がオンの状態で動画記録モードがスタンバイ状態(録画停止中)のみ機能します。
	オン	※動体検知機能は起動してから10秒間録画します。10秒以内に続けて動体検知できなければ録画停止になります。
Voice Record	オフ	映像のみで音声は記録しません。
	オン(▲)	映像と音声を記録します。
日付プリント	オフ	動画ファイルに日付や時刻を記録することができます。
	オン(▲)	
G Sensitivity	オフ	G Sensitivity(衝撃検知)の感度を設定します。 ソフト(高感度): 検出しやすくなります。 ハード(低感度): 検出しにくくなります。
	ハード	
	ノーマル(▲)	
	ソフト	
緊急録画設定	上書きする(▲)	上書きする=緊急録画ファイルを上書きします。 上書きしない=緊急録画ファイルを上書きしません。
	上書きしない	

▲は工場出荷設定値です。

※1 エンジンOFF時に本機能を動作させる場合は、長時間録画用のバッテリー接続ケーブル(別売)をお求めください。

動画記録中のスクリーンショットについて

動画記録画面

動画記録中、「電源」ボタンを押すと、リアルタイムの静止画が撮ります。
スクリーンショットが正しくおこなえると、液晶画面に「」アイコンが表示されます。

スクリーンショットアイコン



スクリーンショットで撮った静止画は撮影モードで撮った静止画と一緒に「PHOTO」フォルダに保存されます。

静止画撮影モード

静止画撮影画面

録画モードがスタンバイ状態で「MODE」ボタンを押すと、静止画撮影モードに入ります。液晶モニターで被写体を確認してから、「OK」ボタンを押すと、静止画を撮影します。

1. 液晶モニター

被写体を表示します。

2. ホワイトバランスアイコン

3. 露出補正アイコン

4. モードアイコン

静止画撮影モード時に、このアイコンを表示します。

5. 撮影枚数アイコン

撮影可能枚数を表示します。

6. 解像度アイコン

静止画ファイルの解像度を表示します。

7. 画質表示アイコン

画質の状態を表示します。星が3つの場合、最高画質となります。

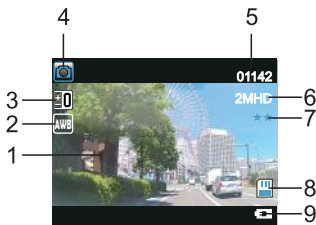
8. microSDカードアイコン

microSDカードの状態を表示します。

挿入時:  未挿入時: 

9. 電源アイコン

本体通電中に点滅します。



静止画撮影モード(つづき)

静止画撮影モードの設定

静止画撮影モードで、「MENU」ボタンを押すと、静止画撮影モードの設定メニュー画面が表示されます。



項目	設定内容	説明
解像度	3M	静止画ファイルの解像度を2048x1536に選択します。
	2MHD(▲)	静止画ファイルの解像度を1920x1080に選択します。
	1.3M	静止画ファイルの解像度を1280x960に選択します。
	VGA	静止画ファイルの解像度を640x480に選択します。
画質	Fine	静止画ファイルの画質を設定します。
	Normal(▲)	
	Economy	
シャープネス	Strong	被写体の鮮鋭さ(シャープネス)のレベルを設定します。
	Normal(▲)	
	Soft	
ホワイトバランス	Auto(▲)	ホワイトバランスの種類を選択します。
	晴天	
	曇天	
	白熱光	
	蛍光灯	
カラー	カラー(▲)	静止画撮影時のカラーの設定をします。
	白黒	
	セピア	
露出補正	+0.0(▲)	記録される画質の露出(明るさ)のレベルを設定します。 ※-2.0,-5/3,-4/3,-1.0,-2/3,-1/3,+0.0,+1/3,+2/3,+1.0,+4/3,+5/3,+2.0
クイックビュー	オフ(▲)	撮影した画像のクイックビューの時間を設定します。
	2秒	
	5秒	
日付プリント	オフ	静止画ファイルに日付や時刻を記録することができます。
	オン(▲)	

▲は工場出荷設定値です。

再生モード(記録ファイルの読み出し)

本機の再生モード画面

静止画撮影モードで「MODE」ボタンを押すと、再生モードに入ります。

再生モードに入ると、本体に記録された動画や静止画を本機で再生することができます。

動画ファイル再生モード画面



記録ファイル再生/表示中の画面



静止画ファイル再生モード



1. モードアイコン

動画ファイル再生モードの場合、アイコンを表示します。

静止画ファイル再生モードの場合、アイコンを表示します。

2. ファイル名

記録された動画や静止画のファイル名を表示します。

3. 解像度アイコン

動画や静止画の解像度を表示します。

4. 日付・時刻

記録された動画や静止画を撮影した日付と時刻を表示します。

※日付プリント設定がオンになっているファイルが対象となります。

5. 電源アイコン

通電中は点滅します。

6. 再生状態表示アイコン

動画再生中にカーソルボタン▲/▼を押すと、動画再生を早戻し/早送りします。

7. 液晶モニター

記録された動画や静止画の画面を表示します。

8. 再生時間

再生している動画の進行時間を表示します。

再生モード(記録ファイルの読み出し)つづき

再生モードの設定

再生モードで、「MENU」ボタンを押すと、再生モードの設定メニュー画面が表示されます。



項目	設定内容	説明
削除	このファイル(▲)	選択された個別ファイルの削除もしくは、全ファイル削除を選択します。
	全部	
保護	1つのファイルをロック(▲)	記録されたファイルを保護するかどうかを設定します。
	1つのロックを解除	
	全部のファイルをロック	
	全部のロックを解除	
スライドショー	2秒(▲)	スライドショーの時間を設定します。
	5秒	
	8秒	

▲は工場出荷設定値です。

パソコンによる記録ファイルの読み出し

本機に記録されたファイルをパソコンで読み出すことができます。

※対応OS: Windows XP/7/8/10

※すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※パソコンの処理能力により、お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、出しく動作しない場合があります。

microSDカードをパソコンと接続する

1. 本体の電源をオフしてください。
※電源オンの状態でmicroSDカードを取り出すと本体とファイルが破損する恐れがあります。
2. microSDカードを取り出し、カードリーダー等を使用してパソコンと接続してください。
※microSDカードのカードリーダーは付属しておりません。
※microSDカードは大切に保管してください。再度本機を使う前に、microSDカードを本体に挿入してください。
3. パソコン上でmicroSDカードを開き、「CARDV」フォルダを開きます。
4. 再生したいファイルをダブルクリックして、Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。

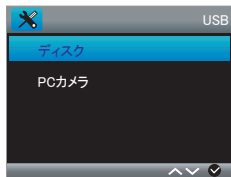
本体を直接パソコンと接続する

本機を直接パソコンに接続することができます。

1. USBケーブルで本機とパソコンを接続すると、自動的に録画モードに入ります。そのあと、約5秒後に下記の画面に切り替わります。
2. 「ディスク」を選択すると、自動的に外部ストレージが開きますので、「CARDV」フォルダを開いてください。

※USBケーブルは付属しておりません。

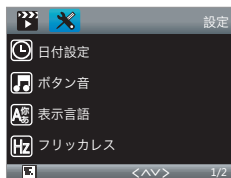
3. 再生したいファイルをダブルクリックして、Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。



一般設定について

一般設定メニュー画面

全モードで「MENU」ボタンを2回押すと、一般設定メニュー画面が表示されます。
※動画記録モードの場合、スタンバイ状態（録画停止中）のみ操作可能です。



項目	設定内容	説明
日付設定	----	初期値＝2018/06/01
		「▲」ボタンで、日時の数字をアップします。
		「▼」ボタンで、日時の数字をダウンします。
		「OK」ボタンを押すと設定項目が保存され、カーソルが次の項目に移動します。
ボタン音	オフ	ボタンの操作音を設定します。
	オン(▲)	
表示言語	日本語(▲)	本機メニュー表示言語を選択します。
	中国語(簡体)	
	英語	
フリッカレス	50Hz(▲)	東日本地域は50Hzに設定してください。 西日本地域は60Hzに設定してください。 ※記録撮影時にLED信号灯等のちらつきを防止します。
	60Hz	
液晶OFF	オフ(▲)	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をオフにします。
	30秒	
	1分	
	2分	

▲は工場出荷設定値です。

一般設定について(つづき)

項目	設定内容	説明
フォーマット	キャンセル(▲)	microSDカードのフォーマットを行います。 ※microSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをPCでバックアップしてください。
	実行	
デフォルト設定	キャンセル(▲)	日付以外の設定項目を工場出荷設定値に戻します。 ※記録された動画ファイルや静止画ファイルは削除しません。
	実行	
バージョン	----	本機のバージョンを表示します。

▲は工場出荷設定値です。

録画時間について

本機に使用するmicroSDカードにより、記録時間が異なります。

microSD カード容量	記録時間		
	1080P(1920x1080)	720P(1280x720)	WVGA(800x480)
8GB	約60分	約120分	約192分
16GB	約120分	約240分	約384分
32GB	約240分	約480分	約768分

- 上記記録時間は目安であり、絶対保証値ではありません。
- 記録時間は、常時録画と緊急録画を含めた録画時間の合計です。
- 被写体や周囲環境により、記録可能な時間と件数が変化することがあります。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認して下さい。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない	●本機の電源はオンになっていますか？ ●シガーアダプターは外れていませんか？ ●ヒューズが切れていませんか？	●本機の電源をオンにしてください。 ●シガーアダプターを差し込んでください。 ●ヒューズを交換してください。(2A)
誤作動をする	—	●本機のリセットボタンを押してください。 ●本機を再起動してください。 ●再起動とリセットしても直らない場合は、電源をオフにして、挿入しているmicroSDカードの中のデータをバックアップしてから、フォーマットして使用してください。 ●工場出荷設定に戻してください。
液晶画面に輝点がある	液晶パネルの特性です、不良ではありません。(有効画像数99.99%以上)	—
録画できない	●microSDカードが本体に挿入されていますか？ ●microSDカードエラーが発生していませんか？ ●動画記録モードに切り替えましたか？ ●「録画が停止しました。録画ファイル日付に矛盾があり バックアップしてからSDカードをフォーマットしてください。」が表記されていますか。	●microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。 ●対応しているmicroSDカードに交換してください。 ●動画記録モードに切り替えてください。 ●「録画が停止しました。録画ファイル日付に矛盾があり バックアップしてからSDカードをフォーマットしてください。」が表記される場合は、電源をOFFして、装着しているmicroSDカード内のデータをバックアップした後、フォーマットを行ってください。または日付は正しいかどうかを確認してください。

仕様

型番	DRX-318
商品名	ドライブレコーダー
ディスプレイ	1.5インチフルカラー液晶
レンズ	300万画素カラーCMOS
カメラ画角	水平:約130° 垂直:約98° 対角:約170°
フレームレート	27.5fps
録画ファイル単位	1分/2分/3分
動画解像度	FHD(1920×1080)
	720P(1280×720)
	WVGA(800×480)
静止画解像度	3M(2048×1536)
	2MHD(1920×1080)
	1.3M(1280×960)
	VGA(640×480)
動体検知	オン/オフ設定可能
音声録音	オン/オフ設定可能
WDR	オン/オフ設定可能
Gセンサー(衝撃検知)	内蔵
映像フォーマット	MOV
画像フォーマット	JPEG
電源	DC12V
消費電力	約2.5W
本体寸法(mm)	約60(W)×40(H)×36(D)(突起物除く)
本体重量	約50g(microSDカード含む)
保存温度	-10℃～60℃
動作温度	0℃～50℃
付属品	シガーアダプター(約4m)×1
	取付ステー×1
	microSDカード(8GB×1)
	取扱説明書×1・保証書×1

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。
 ※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

àZur

輸入元:株式会社イノベティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話…**048-970-5027**

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00 13:00~17:00

<http://www.innovativesale.co.jp/>